

2020年度 授業シラバスの詳細内容

| ○基本情報       |   |                   |                                     |
|-------------|---|-------------------|-------------------------------------|
| 科目名(英)      | 研究ゼミナールB (Seminar of Study B)   |                   |                                     |
| ナンバリングコード   | L31205  | 大分類 / 難易度<br>科目分野 | 建築学科 専門科目 / 応用レベル<br>研究・資格・インターンシップ |
| 単位数         | 2   | 配当学年 / 開講期        | 3年 / 後期                             |
| 必修・選択区分     | 選択  |                   |                                     |
| 授業コード       | L120562   | クラス名              | 木村研究室                               |
| 担当教員名       | 木村 智  |                   |                                     |
| 履修上の注意、履修条件 | 毎週行われるゼミの中で2週間に1回程度の割合で、建築作品の分析発表や輪読の担当分について発表が求められます。自分で選択した専門分野について、調査を行い、専門性を高めていってください。 |                   |                                     |
| 教科書         | なし  |                   |                                     |
| 参考文献及び指定図書  | 20世紀を築いた構造家たち(オーム社) 小澤 雄樹<br>世界の構造デザインガイドブック(建築技術) 日本建築学会編 ※その他の図書を適宜紹介します。                 |                   |                                     |
| 関連科目        | 専門分野に関連する全科目  |                   |                                     |

| ○授業の目的・概要等       |  |
|------------------|--|
| 授業の目的            | 研究ゼミナールAでは、自分のもっとも興味のある建築分野を研究している研究室に所属し、その指導教員のもとで、卒業研究につながる基礎的な学習や卒業研究を作成するために必要な技術を習得します。<br>例えば、卒業研究につながる調査や見学、文献やビデオ教材、CADソフト等による専門分野の学習、作品制作や実験あるいはそれらのための様々な準備、資格取得のための勉強会など、指導教員により指導内容は異なります。各指導教員のもとで各自がそれぞれのテーマを設定し、上級生である卒業研究生らと協力して自主的に研究活動を行ってください。<br>また、各指導教員と親密に接触できる絶好のチャンスでもあります。それぞれの専門分野に対する理解を深めるためにも積極的に取り組むことが大切です。 |
| 授業の概要            | 優れた建築作品の分析と考察を行い、それに対する検討を参加者で行います。<br>設計製図に役立つ参考図書を輪読し、設計手法等の理解を深め、設計能力の向上を目指します。   |
| 授業の運営方法          | (1) 授業の形式 「演習等形式」<br>(2) 複数担当の場合の方式 「該当しない」<br>(3) アクティブ・ラーニング プレゼンテーション 他   |
| 地域志向科目           | カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目   |
| 実務経験のある教員による授業科目 | 該当しない  |

| ○成績評価の指標          |  | ○成績評価基準(合計100点)     |                   |                  |
|-------------------|--|---------------------|-------------------|------------------|
| 到達目標の観点           | 到達目標   | テスト<br>(期末試験・中間確認等) | 提出物<br>(レポート・作品等) | 無形成果<br>(発表・その他) |
| 【関心・意欲・態度】        | 建築作品と論考の分析を意欲的に行う。<br>発表された作品分析の解釈を積極的に試みて、発表者に対して的確な質疑や意見を述べる事ができる。 |                     |                   | 40点              |
| 【知識・理解】           | 建築家の図面解釈と言説解釈ができる。   |                     | 20点               |                  |
| 【技能・表現・コミュニケーション】 | 建築作品の分析を適切に絵と図と言葉でプレゼンテーションできる。また、質疑応答に適切に対応できる。                     |                     | 20点               |                  |
| 【思考・判断・創造】        | 社会的に認められる研究姿勢の訓練し、社会人として適切な判断をできるようにする。実践的な建築設計活動を学ぶ。                |                     | 20点               |                  |

| ○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)  |
|--|
| 決められた発表課題の準備を適切に行い、その内容を明確にプレゼンテーションする。<br>プレゼンテーションされた成果物と発表姿勢とポートフォリオを総合的に評価します。<br>他者の作品分析に対して積極的に質疑を行う。提出されたポートフォリオを確認し、春季休業中に返却します。<br>[Sレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を満たしている。<br>[Aレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。<br>[Bレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。<br>[Cレベル] 単位を修得するために達成すべき到達目標を一部分満たしている。 |

| ○その他   |
|--|
| 活動内容を研究室のホームページに掲載することがあります。 <a href="http://www.nbu.ac.jp/~kimurast/">http://www.nbu.ac.jp/~kimurast/</a> |

